

バルセロナ～チビタベッキア 地中海航路

グリマルディ ラインズ乗船記

近藤貴行

2025 年 11 月に、バルセロナからチビタベッキアを、グリマルディラインズのクルーズ ローマに乗船。イタリアのグリマルディは、所有フェリー船腹量（総トン数ベース）で、世界トップクラスを誇るが、その同社 HP でフラッグシップと謳っている船となる。

21 時 30 分出港、翌 19 時着の 21 時間 30 分の航海。

この航路は同型船クルーズ バルセロナとディリー運行だが、毎日ダイヤが異なり、私が乗船した週のバルセロナ出港時刻は、月曜（乗船日）21 時 30 分、火曜 22 時 30 分、水曜 23 時 59 分、金曜 23 時、土曜 25 時 30 分とかなり変則的だ。

2008 年フィンカンティエリ建造で、後に船体延長工事を受け、全長 254m、総トン数 63742 トン、キャビン 499 室+スイート 68 室、シート席 595 で定員は 3343 人と大型船である。船籍は GNV フェリーと同じ、イタリアのパレルモである。クルーは全てイタリア人だろうか。この総トン数は、地中海航路では最近建造されたモビーラインの 7 万トンに次ぐ大きさのようだ。

船内配置としては、パブリックスペースは9デッキのスパを除いて10デッキに集中している。

① 予約・乗船

HP からネット予約。窓側キャビン++夕食+朝食+昼食で、計170€だが、乗船3日前予約でブラックフライデー割引で151€だった。

チェックインは、国際フェリーだがシェンゲン協定内の移動のためか、出港2時間前まで。乗船は、19時から。出国審査はなし。バルセロナ港は岸壁を歩くことを厳格に禁止しており、欧州では珍しいボーディングブリッジにて徒歩客は乗船。グリマルディラインは、徒歩客をシャトルバスで後部ランプまで運ぶ他のGNVフェリーなどとは異なる専用ターミナルを有している。バルセロナでは、グループ会社のTRASMEDがバレアレス諸島への航路を持っているが、別のターミナルである。

今回は乗船客が極めて少なく、せいぜい300人程度だろう。

② 車両甲板

後部から乗下船。今回はガラガラだった。

③ キャビン

アウトサイドキャビンで4人部屋、面積は11m²くらいだろうか。バスタオル、フェイスタオル、シャンプーとボディソープは個別包装。入港1時間半前には、キャビンを空けるよう船内放送があった。後部のキャビンだったが、エンジンの振動は航海中ずっとあった。また通路が極めて狭く、すれ違うのがやっとのほど。さらにカーペットがまったく敷かれてないため、高級感に欠ける。

④ レストラン

アラカルトレストラン、今回利用のセルフサービスレストラン（カフェテリア方式）、ハンバーガーなどの軽食があった。GNVフェリー（傭船の元サブリナは別）と同じくシステムの、事前の申し込みで、夕食ならばパン、前菜（チーズがトマト）、パスタ（3種類から）、メイン（魚は無しで3種類から）、デザート、水で20€というセットメニューで3食とった。これはビジネスという商品名だから、ドライバーなどビジネス客向けのお得なメニューだろうが観光目的でも問題なく購入できる。このレストランには、ドライバー専用のスペースも設置されていた。ただしキャビンについては、専用エリアの表示は見当たらない。

この事前申し込みのセットメニューの良い点は、会計で悩むことがないことである。レストランの値段が入ったメニュー表

は、レストラン入口に文字だけのものしかないため、なれない日本人が見てもよくわからない。したがって、いざレーンに並び料理に手を出そうかとしても値段がわからないのである。また昼夜営業のアラカルトレストランでは、事前申し込みでは 30€ のセットメニューがある。

今回のレストランで初めて見た光景は、犬を連れて入店していたことだ。今まで屋外のカフェや、屋内でもオープンな造りの軽食では見たことはあったが、営業時間外はドアをクローズするようなレストランで見るのは初めてだ。

GNV フェリーも同じだが、イタリアの船会社の割にはピザが見当たらない。

⑤ バー、ラウンジ

各種あるが、いかんせん乗船客が少ないため閑散としていた。船首に巨大なラウンジがあるが、前方にステージがあるため船の進行方向は見渡すことは出来ない。ステージは多客期には雑魚寝スペースにしかないアフリカ航路と違い、この船の場合は何かショーがあるのかもしれない。

⑥ 免税店

高級品ブランドが中心だが、子供向けのショップも独立してあったが、子供は 1 人も見なかった。チルドレンルームも巨大船に似合わない小ささ。

⑦ カジノ

閉鎖されていた。

⑧ スパ

利用はしていないが、マッサージなどの他に屋内にジャグジーがあるが有料。

⑨ 屋外プール

当然冬だから閉鎖されていたが、あまり大きくはない。またプールデッキ自体、屋外バーとプールしか無く他はただっ広い甲板が広がっているだけだ。有料のジャグジーやキッズルームの狭さと合わせて、あまり船名のクルーズという感じはしない。

⑩ 航海

航海は極めて穏やかで揺れもなかった。昼の 12 時半には、コルシカ島とサルデーニャ島のもっとも狭い場所を通過。レストラン以外ではほとんど見ることがない乗船客も、この時はデッキに集まってきた。

⑪ 下船

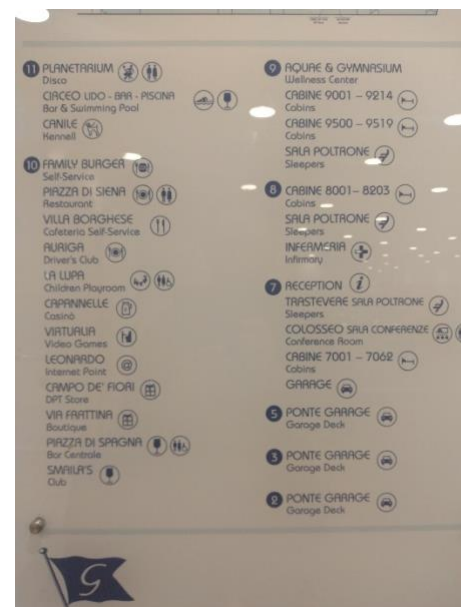
徒歩客は、後部ランプから下船。しばらく歩くと、シャトルバスが止まっていた。

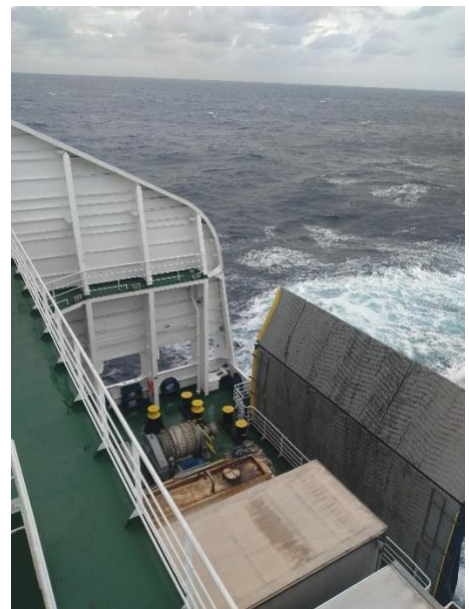
最後に

同じ国際フェリーとはいえ、ヨーロッパとアフリカを結ぶ航路とは客層が違っているので船内の雰囲気も異なると思うが、何分乗船客があまりに少なかったため、あまり実感できなかった。



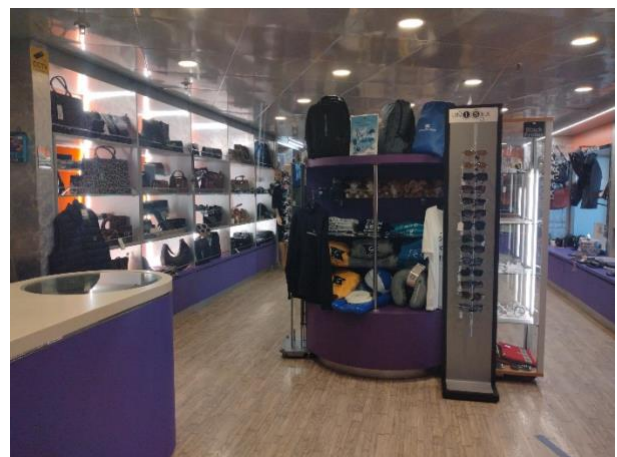
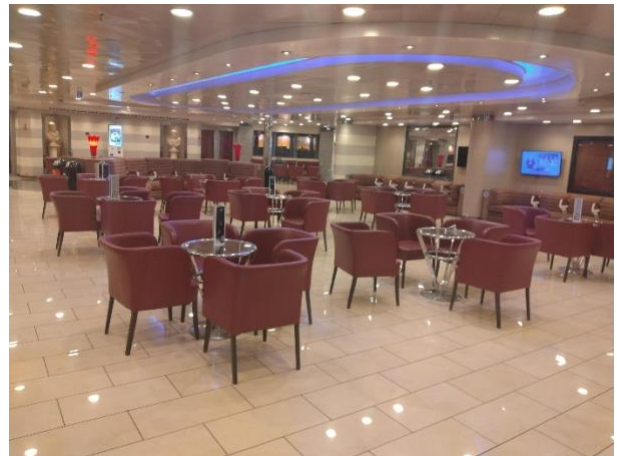
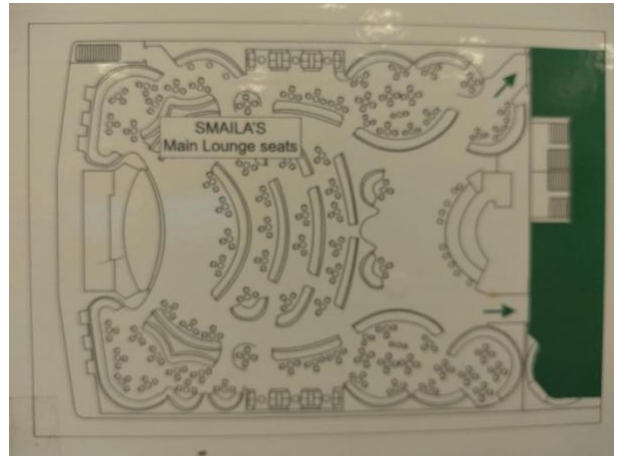
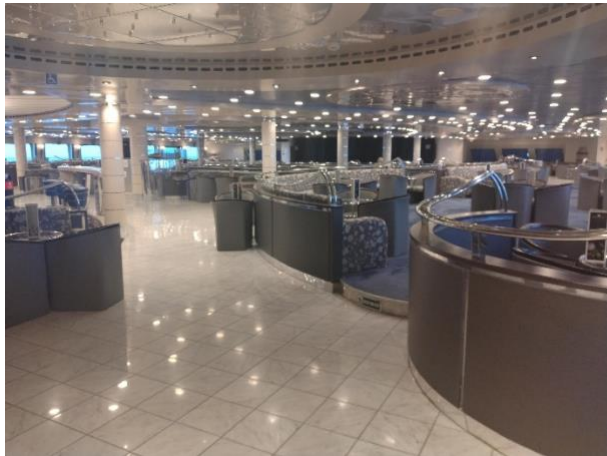
中段 2 枚の模型写真は、救命ボートが 3 隻の船体延長前。





以上 6 枚 11 デッキ

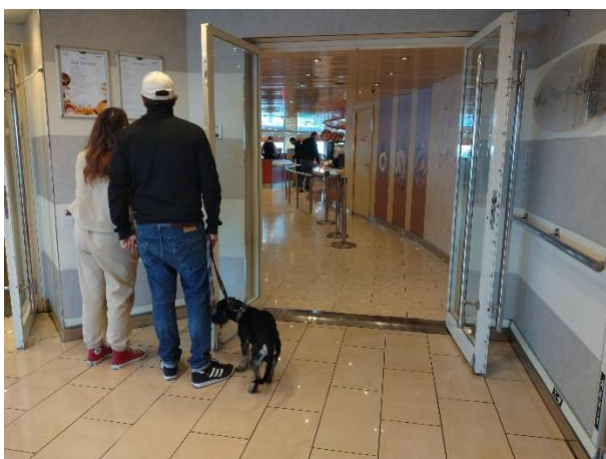
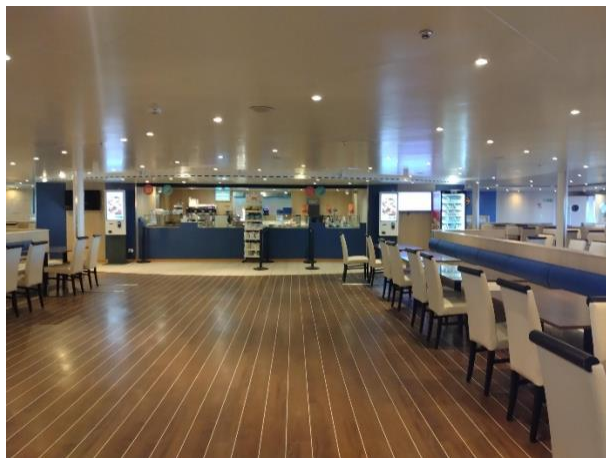
下段右写真では、トラックが見えている。



以上 6 枚 10 デッキ

上段 2 枚 船首ラウンジ

中段 2 枚と下段左 セントラルバー、長椅子の仕切は雑魚寝防止



以上 6 枚 10 デッキ

上段 2 枚 ハンバーガーショップ

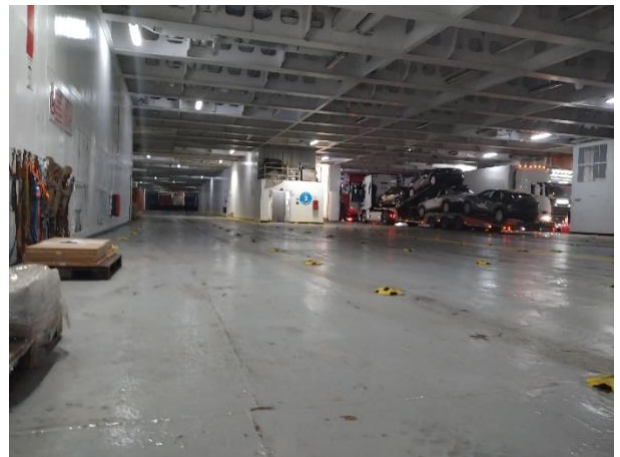
中下段 4 枚 セルフサービスレストラン



上段 2 枚と中段左 セルフサービスレストラン

中段右 10 デッキ アラカルトレストラン

下段 2 枚 9 デッキ



上段 8 デッキ 中段左 7 デッキ プロムナードはボート部分
 だけが、まわりにはパブリックスペースがないため、誰も来ない

下段右 バルセロナ港での、CIUDAD DE BARCELONA 29500 トン。
 ペイントは、GRIMALDI TRASMED の文字。